

宮路拓馬 国会通信

■ 小泉進次郎農林部会長 南さつま市制10周年で来鹿

11月7日、南さつま市の市制十周年記念式典の開催に合わせ、小泉進次郎自民党農林部会長が来鹿されました。

小泉部会長の祖父（小泉純也元防衛庁長官）は私の出身地でもある加世田市（現南さつま市）万世の出身です。万世小の校庭に立つ純也氏の胸像を訪れた際には「『こんにちは』ではなく『ただいま』という気持ちだ。そして、今回農林部会長を仰せつかったのは、日本有数の農業県である鹿児島で生まれ育った祖父の導きであるような気がする」と発言され、万世小に集まった多くの住民の方々から拍手喝采を浴びました。

小泉部会長は私より2学年下の34歳ではありますが、既に当選3回を重ね、政府や党の要職も経験されています。今回農林部会長を引き受けられた際には、直接「これから30年後の我が国の農業に責任を持たなければならない同世代の仲間として力を貸してほしい」とお声がけをいただき、私も「全力でお支えます」とお答えしました。

まさに「責任世代」として、小泉部会長とともに頑張っています！



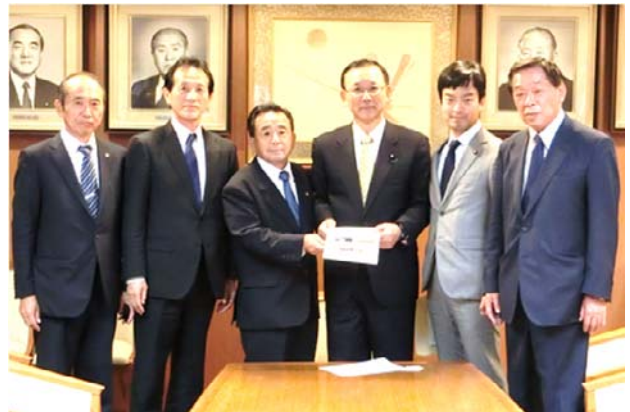
(11月7日 万世小の小泉純也氏胸像前)

■ 28年度農業農村整備事業予算の 確保に向け、谷垣幹事長に要請

11月12日、鹿児島県の土地改良に関係する各団体の会長を務める本坊輝雄南さつま市長、宮路高光日置市長、永野和幸肝属町長、西野一秀県土改連専務とともに、自民党本部において谷垣禎一幹事長に対し、28年度の関係予算の確保についての要請を行いました。

具体的には、農業農村整備事業や国営かんがい排水事業、再生可能エネルギー導入、多面的機能支払い交付金の推進などを内容とするものです。

TPPの大筋合意を受け、今後「攻めの農業」を展開していくための関係予算の確保に向け全力で頑張っています！



(11月12日 自民党本部総裁応接室)

■ 国会閉会中も 自民党は活動しています

自民党本部では、国会閉会中も①TPP対策や②一億総活躍社会の実現に向けての緊急提言のとりまとめ、③28年度税制改正及び予算案の編成などに向けて、連日、各省や関係諸団体、有識者からのヒアリン

グなど、勉強会が続いています。

そのような中、11月12日には、農林水産戦略調査会・農林部会合同会議終了後の西川公也会長並びに小泉進次郎部会長の記者会見の場に同席させていただきました。多くのカメラが向けられる中、「新たな時代に立ち向かおうとしている現場の生産者の皆さんの努力や挑戦を全力で支える」とのメッセージを力強く発信しました。



(11月12日 自民党本部)

■ 森山農水大臣と地元畜産農家の 現場視察・意見交換を実施

11月15日には森山裕農林水産大臣を私の地元であるさつま町にお迎えし、畜産農家の現場を視察した後、畜産関係者の皆さんとの意見交換を行いました。

鹿児島県は日本が世界に誇る黒毛和牛の一大生産地であり、その中でもさつま町は「平茂勝」という日本有数の良質な種牛を生み出した、まさに肉用牛のメッカとも言える地域です。

現場視察では、最新の機器や飼料を活用し先進的な子牛の生産に取り組まれている下田保幸さんの話を森山大臣とともに聞きし、その後の意見交換の場では、TPPの詳細な内容と国内対策の大枠について大臣から説明があった後、畜産関係者の皆さんからも活発な質疑があり、大変有意義なものとなりました。

今回いただいたご意見を自民党の農

林部会の場に届けるとともに、今後の政策立案に生かし、畜産農家の皆さんが安心して取り組める環境づくりに頑張ってください！



(11月15日 さつま町下田畜産)

■ 自民党 農業分野のTPP対策を決定

11月17日、農林水産戦略調査会・農林部会合同会議を開き、TPPの大筋合意を踏まえた国内の農業分野の対策を正式に決定しました。

主な内容は次のとおりです。

まず、攻めの農林水産業への体質強化対策として、①次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成、②畜産クラスター事業の拡充、③高品質な我が国農林水産物の輸出の拡大、など。

次に、米や牛・豚肉などの重要5品目の経営安定対策として、①政府備蓄米の買い入れ枠の拡大、②牛・豚肉生産者の所得補てんの法制化及び赤字の補てん割合の拡充(8割→9割)、③加糖調製品を新たに糖価調整法に基づく調整金の対象に追加すること、など。

そして、今後の課題として、①収入保険制度の導入検討や、②農林水産業の成長産業化を一層進めるための戦略・具体的施策を検討し実現していく、としています。

これらの内容を27年度補正予算や28年度予算にしっかり反映させるよう頑張ってください！